

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.78 特別支援教育推進事業			担当課	指導課			予算費目名	款 10	項 01	目 02
事業概要 及び目的	特別支援教育に係わる教員の専門性の向上を図る各種研修会の開催。適切な就学指導を図るために心身障害児就学指導委員会を開催。発達障害の実態把握及び指導状況の把握。「通級による指導」の整備・充実。特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援体制の整備。特別な支援を必要とする児童・生徒や、支援を必要としている児童生徒が多く在籍する、より緊急性の高い小学校・中学校に介助員を配置。			成果目標	1.各種研修実施回数（20回）	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度		
					2.配置が必要と判断された児童生徒への介助員配置	77,966,000	82,175,000	75,862,000	69,952,000		
					3.学校配置介助員の配置	59,601,609	59,934,413	61,310,810			
					計画値	各 100%					
事業の 位置づけ	章 1	豊かな人間性と暖かさを育むまち	★左記施策（号）との結び付き 特別支援教育は学校全体で実施する教育であり、教員の力量の向上・学校の体制作り、障害のある児童・生徒及び保護者のニーズに応じた教育は学校教育の充実に応えるものである。	従事職員数	2	2	2				
	節 1	豊かな人間性を育む教育の推進		従事延べ日数	520	520	520				
	項 2	次代をひらく学校教育の充実		民間活力の導入	現状は？：□実現している □将来可能性はある □将来困難だが可能性はある ■余地なし 相手は？：□市民 □市民活動団体 □企業・学校等 形態は？：						
	号 2	小中学校教育の充実									

2. 進捗状況

		平成 21 年 7 月 23 日記入				平成 22 年 6 月 4 日記入				平成 23 年 4 月 15 日記入																		
年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）								22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）								23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）											
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定年度終了後	実施	★継続している事項、未着手事項がある理由				実施計画上の予定	実施	実施計画の予定年度終了後	実施	★継続している事項、未着手事項がある理由				実施計画上の予定	実施	実施計画の予定年度終了後	実施	★継続している事項、未着手事項がある理由								
完了した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害別事例研修会、特別支援教育コーディネーター研修の実施</li> <li>年間 6 回の心身障害児就学指導委員会実施</li> <li>校内委員会、特別支援教育コーディネーター等校内体制調査</li> <li>心身に障害があり、本人及び周りの児童・生徒の安全を確保するため、小学校 32 名、中学校 3 名の児童・生徒に 59 人の介助員を配置</li> <li>個人配置の介助員のいない小学校 5 校、中学校 4 校に学校配置の介助員 16 人を配置。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>障害により個別の支援を必要とする児童・生徒がどの学校にも在籍しているため</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>障害別事例研修会、特別支援教育コーディネーター研修、通常学級担任対象研修会の実施</li> <li>年間 6 回の心身障害児就学指導委員会実施</li> <li>校内委員会、特別支援教育コーディネーター等、校内体制調査</li> <li>心身に障害があり、本人及び周りの児童・生徒の安全を確保するため、小学校 29 名、中学校 4 名の児童・生徒にのべ 66 人の介助員を配置</li> <li>支援を必要としている児童生徒が多く在籍する、より緊急性の高い小学校 10 校、中学校 2 校に学校配置の介助員のべ 24 人を配置。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>障害により、個別の支援を必要とする児童・生徒が、どの学校にも在籍しているため</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>障害別事例研修会、特別支援教育コーディネーター研修、通常学級担任対象研修会の実施</li> <li>年間 6 回の心身障害児就学指導委員会実施</li> <li>校内委員会、特別支援教育コーディネーター等、校内体制調査</li> <li>心身に障害があり、本人及び周りの児童・生徒の安全を確保するため、小学校 28 名、中学校 3 名の児童・生徒にのべ 62 人の介助員を配置</li> <li>支援を必要としている児童生徒が多く在籍する、より緊急性の高い小学校 12 校、中学校 3 校に学校配置の介助員のべ 30 人を配置。</li> </ul>													
継続している事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育に係わる各種研修の実施</li> <li>年間 6 回の心身障害児就学指導委員会実施</li> <li>介助が必要とされる児童・生徒（小学校 28 人、中学校 4 人）に対し 56 人の個人配置の介助員を配置</li> <li>学校配置の介助員を小学校 10 校、中学校 2 校に 22 人の介助員を配置</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育に係わる各種研修の実施</li> <li>年間 6 回の心身障害児就学指導委員会実施</li> <li>介助が必要とされる児童・生徒（小学校 29 人、中学校 4 人）に対し 66 人の個人配置の介助員を配置</li> </ul>																				
未着手事項																												
改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校配置介助員を、必要性の高い学校から配置</li> <li>通常学級担任を対象とする特別支援教育に関する研修会を 21 年度に実施する。</li> </ul>			<b>成果指標</b> 実績値 1. 22 回 2. 58 名 (要支助児童 34 名) 3. 小学校 5 中学校 4				<ul style="list-style-type: none"> <li>学校配置介助員を、必要性の高い学校から配置</li> <li>特別支援教育コーディネーターを対象とする特別支援教育に関する研修会を 22 年度から増回する。</li> </ul>			<b>成果指標</b> 実績値 1. 26 回 2. 58 名 (要支助児童 33 名) 3. 小学校 10 中学校 2				<ul style="list-style-type: none"> <li>学校配置介助員を、中学校全校に配置（未設置 7 校中 4 校）</li> </ul>			<b>成果指標</b> 実績値 1. 26 回 2. 54 名 (要支助児童 31 名) 3. 小学校 12 中学校 3										
				達成率 1. 100% 2. 100% 3. 39%							達成率 1. 100% 2. 100% 3. 52%							達成率 1. 100% 2. 100% 3. 65%										

3. 今後の方向性

		※課内協議を経て管理職が記入してください。				平成 21 年 7 月 30 日協議実施				平成 22 年 6 月 7 日協議実施				H23 年 4 月 18 日協議実施						
今後の方向性	成果の方向性	拡充			○					○					○					
		現状維持																		
		縮小																		
		休廃止																		
			休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性					休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性				
							コストの方向性										コストの方向性			
		★上記を選択した根拠																		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校配置の介助員を小・中学校すべてに配置することで、個人配置の介助員数が減少または、現状維持が考えられる。</li> </ul>																		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>通常学級担任を対象とする研修を行うことで、教員の専門性の向上を図る。</li> <li>時々パニックを起こす発達障害のある児童・生徒は各学校に在籍しているため、学校配置介助員を小・中学校すべてに配置する。</li> </ul>																		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>通常学級担任を対象とする研修を行うことで、教員の専門性の向上を図る。</li> <li>時々パニックを起こす発達障害等のある児童・生徒が多く在籍している学校に、学校配置介助員を配置する。</li> </ul>																		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育担任、コーディネーターおよび通常学級担任を対象とする研修を行うことで、教員の専門性の向上を図る。</li> <li>通常学級に在籍する発達障害等のある児童・生徒の支援のため、学校配置介助員を全校に配置する。</li> </ul>																		
		■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。																		